IEEE1394 CD-RW ドライブ

CRWiF-B1210

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- 本製品を「CRWiF」と表記しています。
- 「i.LINK」、「FireWire」、「IEEE1394」は同じインターフェースです。本書では「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」と表記しています。
- 本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。

  A:フロッピーディスクドライブ

  C:ハードディスク
- 文中の[ ]は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- CD-ROM、音楽CD、CD-R、CD-RWメディアなどを合わせて「CD」と表記しています。
- 付属のWinCDRユーザーガイド(*)とMacCDRユーザーガイドには、CD-RWに関する用語集が記載されています。本書中に意味の分からない用語があったら、WinCDRユーザーガイド(*)またはMacCDRユーザーガイドの用語集を参考にしてください。

  *「WinCDRユーザーガイド」は、印刷物ではなくオンラインマニュアルとして提供されています。WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CRWiFを使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意)が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⊘分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：●プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁 止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強 制

IEEE1394ケーブルは必ず本製品付属のもの、または弊社製ケーブルをご使用ください。
本製品付属以外のIEEE1394ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

禁 止

電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

⚠ 注意

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ
  →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  →故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。
  汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。
  両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

禁止

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁 止

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

禁 止

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。
CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁 止

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

強 制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

注 意

ヘッドホンをご使用になる場合、ボリュームを大きくしないでください。

大きな音で長時間ヘッドホンをご使用になると、聴覚障害の原因となります。

禁 止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強 制

電源のON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。

本製品の故障、データの消失・破損の恐れがあります。

禁 止

データへのアクセス中は、電源をOFFにしたり、パソコンを再起動したり、IEEE1394ケーブルを抜き差ししないでください。

データが消失、破損する恐れがあります。

強 制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

CRWiF の特長や、メディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● CD-R/RW メディアに書き込み可能
CRWiF は、CD-RW メディアと CD-R メディアにデータを書き込めます。 転送速度は次のとおりです。

- CD-RW 書き込み時： 1500KB/sec（10倍速）（*）、1200KB/sec（8倍速）（*）、600KB/sec（4倍速）、300KB/sec（2倍速）
- CD-R 書き込み時： 1800KB/sec（12倍速）、1200KB/sec（8倍速）、600KB/sec（4倍速）、150KB/sec（1倍速）
- 読み出し時： 最大4800KB/sec（32倍速）

* CD-RWメディアに10倍速や8倍速で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

● バッファアンダーラン（書き込みエラー）を回避する「BURN-Proof」機能を搭載
CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションで作業をしても、バッファアンダーランが発生しません。【P9「BURN-Proof とは?」】

● 多彩なフォーマット形式をサポート
次の CD のフォーマット形式をサポートしています。

○：サポートする
－：サポートしない

CDの フォーマット形式	読み出し	書き込み		
		WinCDR (WindowsMe/98/2000)	PacketMan (WindowsMe/98)	MacCDR (Macintosh)
CD-DA（音楽CD）	○	○	－	○
CD TEXT(*1)	○	○	－	○
CD-ROM（Mode1）	○	○	○	○
CD-ROM XA	○	○	－	○
Photo CD	○(*2)	○(*3)	－	○(*3)
Video CD	○(*2)	○(*4)	－	○(*4)
CD Extra	○	○	－	○
HFS(*5)	○	－	－	○
ハイブリッド(*6)	○	－	－	○

*1 パソコンで再生する場合は、再生ソフトウェアが CD TEXT に対応している必要があります（CRWiF 付属の WinCDR の CD プレーヤーは、CD TEXT に対応しています）。
オーディオ機器で再生する場合は、オーディオ機器が CD TEXT に対応している必要があります。
*2 読み出しには、再生ソフトウェアが別途必要です。
*3 JPG ファイルなどの画像データは、Photo CD 形式ファイルへは変換できません。
4 Video CD 形式ファイルへの変換には、Video CD の規格に準拠したファイル形式（.MPG など）でキャプチャしたデータが必要です。 キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。
*5 Mac OS 用のフォーマット形式です。 Macintosh で読み出すことができます。
*6 ISO9660 と HFS の混在フォーマットです。

次のページへ続く

● IEEE1394（i.LINK/FireWire）に対応
高速シリアルインターフェースIEEE1394に対応しています。最大400Mbps（理論値）でのデータ転送が可能です。

※ IEEE1394機器（CRWiFを含む）は、OSの再セットアップには使用できません。

● MP3データファイルから、音楽CD（CD-DA）を作成できます。

● プラグ&プレイ、ホットプラグに対応
CRWiFやパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

⚠注意 ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P20「CRWiFの取り外しかた」】

● 最大63台の機器を接続できます。
ツリー型接続の場合は最大63台（パソコンを含む）、デイジーチェーンの場合は最大17台（パソコンを含む）の機器を接続できます。また、機器間のケーブルの長さは最大4.5mです。

● CDのバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、CRWiF1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。

パッケージの内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

●CRWiF（本体）..................... 1台

●WinCDR・PacketMan（Windows用）、MacCDR（Macintosh用）

- CD-ROM.......................... 1枚
- WinCDRクイックスタートガイド 1冊
- PacketManクイックスタートガイド 1枚
- MacCDRユーザーガイド 1冊

※ WinCDRクイックスタートガイドおよびMacCDRユーザーガイドの巻末にはお客様登録カード（株式会社アプリックス）がとじ込まれています。必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

● ACアダプタ 1個

●IEEE1394ケーブル(転送速度:400Mbps)

- 6ピン←→6ピン（1m）............ 1本
- 4ピン←→6ピン（1m）............ 1本

●i.LINKシール 1枚

※ Windows搭載パソコンにCRWiFを接続する場合に、CRWiFの背面に貼ります。【P10「各部の名称」】

●FireWireシール 1枚

※ MacintoshにCRWiFを接続する場合に、CRWiFの背面に貼ります。【P10「各部の名称」】

●フロッピーディスク（Windows用）
「IEEE1394デバイスドライバアップデートディスク」1枚

※ Windows98 Second Edition用のアップデートプログラムが収録されています。【P12】

●CD-Rメディア(700MB/80分) 1枚

●ユーザーズマニュアル（本書）........ 1冊

●ユーザー登録はがき、保証書
（株式会社メルコ）.................. 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

必要なパソコン環境

メディアへの書き込みには、次のパソコン環境が必要です。

● Windows 搭載パソコン

- CPU .... Pentium 166MHz 以上
- メモリ .... 64MB 以上（WindowsMe/98）／ 96MB 以上（Windows 2000）
- インターフェース .... IEEE1394（i.LINK）インターフェース(*1)
- ハードディスク空き容量 ..... インストール用に約 10MB、書き込み時の一時的な作業領域として約 50 〜 800MB(*2)
- OS .... WindowsMe、Windows98 Second Edition(*3)、 Windows2000

*1 OHCI規格に準拠し、S400に対応している必要があります。パソコン本体にIEEE1394（i.LINK）インターフェースが搭載されていない場合は、弊社製IFC-IL3（/DV）またはIFC-ILCB2（/DV）を別途ご購入ください。

*2 書き込む容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域は必要ありません。

*3 Windows98では動作しません。本書でWindows98と記載されている箇所は全てWindows98 Second Editionを意味します。

● Macintosh

- メモリ .... 64MB 以上
- インターフェース .... IEEE1394（FireWire）インターフェース
- ハードディスク空き容量 ..... インストール用に約 5MB、書き込み時の一時的な作業領域として約 50 〜 800MB（*）
- OS .... Mac OS8.6、Mac OS9

* 書き込む容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域は必要ありません。

BURN-Proof とは？

従来のCD-R/RWドライブでは、CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションを起動したりすると、CD-R/RWドライブのバッファ（*）が瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう「バッファアンダーラン」と呼ばれるエラーが発生していました。

* パソコンから送られてくるデータを一時的に保管しておく装置

このエラーを防ぐために開発されたのが、「BURN-Proof」という技術です。

この技術を簡単に説明すると、次のようになります。

① CD-R/RWドライブ内のバッファに貯められているデータの量を監視する
② データが無くなりそうになったら、いったんCD-R/RWメディアへの書き込みを止める
③ 書き込みを中断した場所を記憶する
④ バッファにデータが溜まったら、③で記憶した位置から書き込みを再開する

* 書き込みを一時中断した時間分だけ書き込み時間が長くなります。

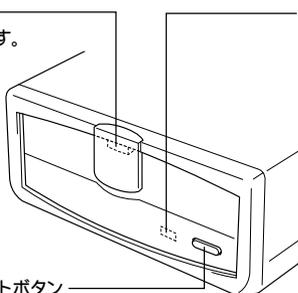
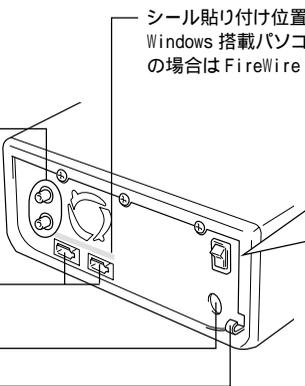
この働きにより、データの書き込みが途切れてしまった場合でも、続きのデータを継ぎ目なく書き込めるのです。

⚠注意 BURN-Proofは、バッファアンダーランにのみ有効な機能です。次の状況では働きません。

- 停電や電源切断
- パソコンやソフトウェアの故障／異常
- CRWiFに衝撃を与えた場合や、CD-R/RWメディアの異常
- 記録する元データやドライブ（CD-ROMドライブなど）の異常

BURN-Proofは、Buffer Under RuN errorにProofする（耐える）技術を表す造語です。耐火を意味するものではありません。

各部の名称

●前面

●背面

⚠注意 ・CRWiFは図のように横置きで設置してください。縦置きでは使用できません。

・音楽CDを聴くときは、CRWiF背面のオーディオ端子にオーディオ機器またはアンプ付きスピーカーを接続します。【P27】

2 セットアップ

CRWiF をパソコンに接続する方法や、操作方法を説明しています。

セットアップ手順

Windows

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にする

▼

Windows98を使用している場合はドライバをアップデートする
【P12「マイクロソフト社 IEEE1394デバイスドライバのアップデート」】

▼

CRWiFをパソコンに接続する 【P14】

▼

- 「WinCDR」 をインストールする
  【別冊 「WinCDR クイックスタートガイド」 参照】
- 「PacketMan」 をインストールする
  【別冊 「PacketMan クイックスタートガイド」 参照】

▼

WinCDR または PacketManを起動する
【別冊 「WinCDR クイックスタートガイド」 参照】
【別冊 「PacketMan クイックスタートガイド」 参照】

Macintosh

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にする

▼

⚠注意 **MacCDR 以外のライティングソフトウェアをインストールしている方へ**

MacCDR をインストールする前に、ライティングソフトウェアのCD-ROM用ドライバを必ず無効にしてください。有効のままMacCDRをインストールすると、ドライバが競合し、正常にパソコンが再起動しないことがあります。ドライバの有効／無効は、［アップルメニュー］－［コントロールパネル］－［機能拡張マネージャ］で設定できます。

▼

MacCDRをインストールする
【別冊「MacCDR ユーザーガイド」参照】

▼

CRWiFをパソコンに接続する 【P15】

▼

「MacCDR」 を起動する
【別冊 「MacCDR ユーザーガイド」 参照】

接続の前に（Windows98）

CRWiFをパソコンに接続する前に、マイクロソフト社IEEE1394デバイスドライバアップデートをインストールします。

⚠注意 マイクロソフト社IEEE1394デバイスドライバアップデートは、WindowsMe/2000では使用しません。WindowsMe/2000を使用している場合は、以下の手順は不要です。

Unplug Utilityのアンインストール

弊社製IEEE1394対応ハードディスクに付属のソフトウェア「Unplug Utility」がパソコンにインストールされている場合は、必ず次の手順でアンインストールしてください。Unplug UtilityとIEEE1394デバイスドライバアップデートは併用しないでください。

1 ［スタート］－［設定(S)］－［コントロールパネル(C)］を選択します。

2 ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3 一覧から「Unplug Utilityのアンインストール」を選択し、［追加と削除(R)］ボタンをクリックします。

4 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でUnplug Utilityのアンインストールは完了です。

マイクロソフト社IEEE1394デバイスドライバのアップデート

付属の「IEEE1394デバイスドライバアップデートディスク」でドライバをアップデートすることにより、CRWiFのパフォーマンスが向上します。Windows98を使用している場合は必ずインストールしてください。

1 付属の「IEEE1394デバイスドライバアップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

2 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］を選択します。

3 ［名前(O)］にA:\242975JPN8.EXEと入力し、［OK］ボタンをクリックします。
下線部にはフロッピーディスクドライブ名を入力します。

4

次のページへ続く

5

Windows 98 Second Edition Q242975 Update

次の使用許諾契約をお読みください。PageDown キーを使ってスクロールしてください。

追加使用許諾契約書
重要 ― 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」といいます) の「オンライン」または電子文書を含むオペレーティング システム コンポーネント(以下「本 OS コンポーネント」といいます) は、下記に示された該当するマイクロソフト オペレーティング システム製品 (以下「OS 製品」といいます) の使用を許諾する契約書 (以下各々の使用許諾契約書を「原契約書」といいます) の条項および条件ならびにこの追加使用許諾契約書 (以下「本追加契約書」といいます) の条項および条件に準拠します。本 OS コンポーネントをインストール、複製、または使用することによって、お客様は該当する OS 製品の原契約書および本追加契約書の条項および条件に拘束されることに承諾されたものとします。これらの条項および条件に同意されない場合、マイクロソフトは、お客様に本 OS コンポーネントのインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。

使用許諾契約に同意されますか? [いいえ] を選ぶとインストールを中止します。インストールするには、この契約に同意してください。

はい(Y)　いいえ(N)

① 使用許諾契約のメッセージをよく読みます。

② 使用許諾契約に同意するときは ［はい(Y)］ボタンをクリックします。
自動的にドライバがインストールされます。

※ ［いいえ(N)］ ボタンをクリックすると、インストールは中断されます。

6 「ここで再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、「IEEE1394デバイスドライバアップデートディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出し、［はい(Y)］ボタンをクリックします。

Windowsが再起動します。

以上でIEEE1394デバイスドライバアップデートのインストールは完了です。

接続時の注意事項

● パソコンおよびCRWiFは精密機器です。巻頭の「安全にお使いいただくためにに必ずお守りください」を必ず参照し、指示に従ってください。

● 大切なデータを守るため、CRWiFを接続する前に、ハードディスクなどに記録されているデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。

● 取り付け作業を始める前に、次の物を用意してください。
・ 本製品および付属品
・ パソコンと周辺機器のマニュアル

● 取り付け作業をする際は、必ずパソコン本体と周辺機器のマニュアルを参照してください。

● CRWiFの電源スイッチは「AUTO」のまま使用してください。
パソコンと連動して自動的に電源のON/OFFが切り換わります。

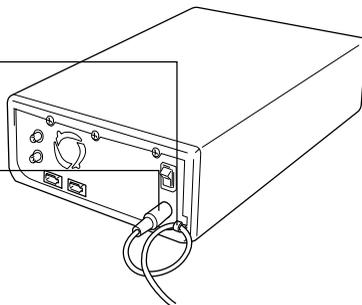
「AUTO」のまま使用します。

※ 4ピン← →6ピンのIEEE1394ケーブルをお使いの方へ
CRWiFの電源スイッチを「ON」にしてお使いください。「AUTO」ではCRWiFの電源がONの状態になりません。電源をOFFにしたいときは電源スイッチを「AUTO」にしてください。

接続のしかた

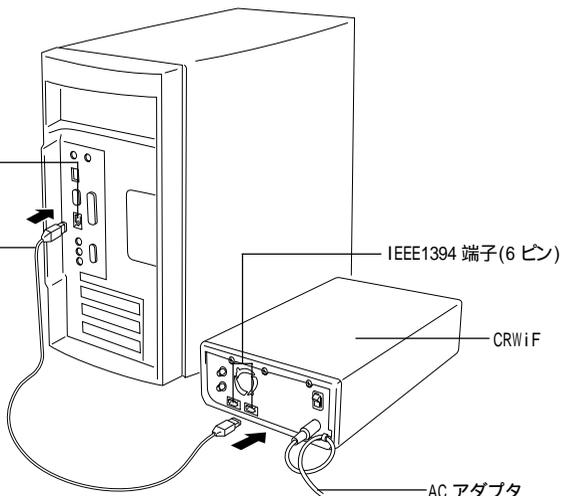
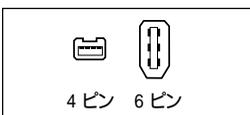
AC アダプタの接続

⚠注意 **AC アダプタは、必ず CRWiF に付属のものを使用してください。**

1 付属の AC アダプタを CRWiF に接続します。

2 AC アダプタをコンセントに差し込みます。

Windows 搭載パソコンへの接続

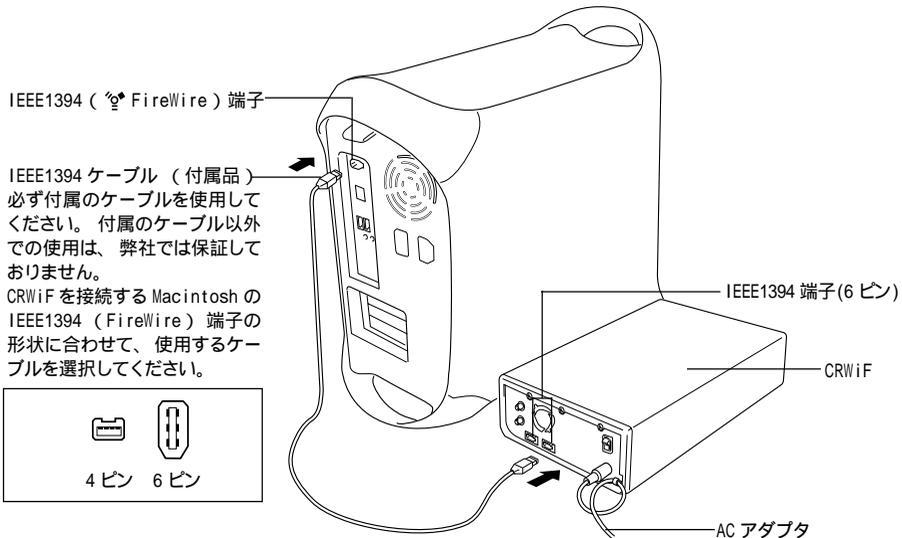
メモ
- CRWiFをパソコンに接続する前に付属のユーティリティをインストールしておいてください。【P12「マイクロソフト社 IEEE1394デバイスドライバのアップデート」参照】
- IEEE1394端子を装備していないパソコンを使用している場合は、別売の弊社製 IEEE1394インターフェース IFC-IL3(/DV)もしくはIFC-ILCB2(/DV)を用意し、パソコンに取り付けてください。【IEEE1394インターフェースのマニュアル参照】

パソコンの電源スイッチを ON にし、次の図のように接続します。

次のページへ続く

⚠注意 **CRWiF はホットプラグに対応しているため、パソコンの起動中に CRWiF をパソコンに接続できます。ただし WinCDR が起動しているときは、IEEE1394 機器（CRWiF を含む）の IEEE1394 ケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しなくなることがあります。**

↘次へ **CRWiF が正しく接続されているか確認します。【P17】**

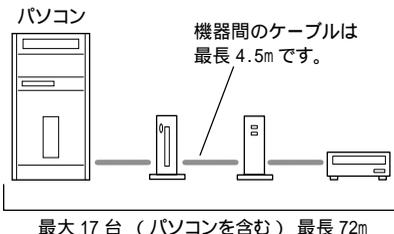
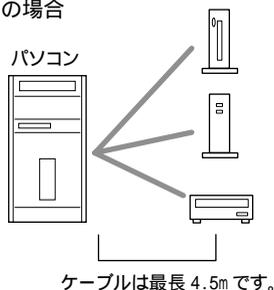
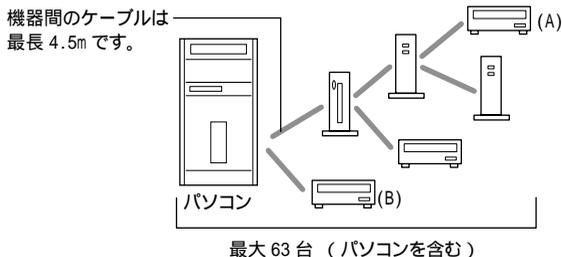
Macintosh への接続

パソコンの電源スイッチを ON にし、次の図のように接続します。

⚠注意
- **CRWiF はホットプラグに対応しているため、パソコンの起動中に CRWiF をパソコンに接続できます。ただし MacCDR が起動しているときは、IEEE1394 機器（CRWiF を含む）の IEEE1394 ケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しなくなることがあります。**
- **MacCDR は CRWiF をパソコンに接続して 15 秒以上待ってから起動してください。パソコンが CRWiF を認識する前に MacCDR を起動すると、CRWiF を認識できなくなります。その場合は、パソコンを再起動してください。**

↘次へ **必ずライティングソフトウェアをインストールしてください。【別冊「MacCDR ユーザーガイド」参照】**

複数の IEEE1394 対応機器を接続するとき

次の図のように接続してください。

⚠注意 CRWiF の電源が OFF になっていると、CRWiF 以降に接続している IEEE1394 機器は使用できません。【P29】

※終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大 16 本（16 ホップ）です。
左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は①～④の 4 本（4 ホップ）となります。

⚠注意 次のような接続はできません。

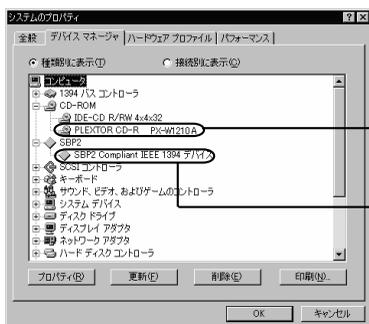
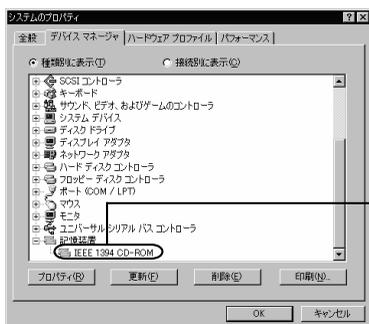
接続状態の確認

WindowsMe/98

WindowsMe/98を使用している場合の、CRWiFの接続状態の確認方法を説明します。

1 **デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。**

2 **表示されたメッセージから［プロパティ(R)］を選択します。**

3 **［デバイス マネージャ］タブをクリックします。次のデバイスが追加されていることを確認してください。**

［記憶装置］に［IEEE 1394 CD-ROM］または「1394/USB CD-ROM」が追加されます。

※ お使いのパソコンによって表示されるデバイス名は異なります。

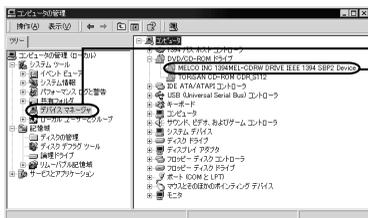
追加されていないときはCRWiFが正しく接続されていません。もう一度CRWiFを接続し直してください。

次へ ライティングソフトウェアをインストールします。
【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」または別冊「PacketManクイックスタートガイド」参照】

2
セットアップ

1 **デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。**

2 **メニューが表示されたら［管理］をクリックします。**

3

①［デバイス マネージャ］をクリックします。

②［DVD/CD-ROMドライブ］の中に［MELCO INC 1394MEL-CDRW DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device］が追加されます。

追加されていないときは、CRWiFが正しく接続されていません。もう一度CRWiFを接続し直してください。

次へ **ライティングソフトウェアをインストールします。**

【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」参照】

3 取り扱いかた

CDのセットのしかたやメディアの取り扱いに関する注意を説明しています。

使用時の注意

● CRWiFを取り外すときは、必ず定められた手順に従ってください。【P20「CRWiFの取り外しかた」】

● CRWiFのアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にパソコンからCRWiFを取り外したり、パソコンの電源スイッチをOFFにしないでください。
データが破損するおそれがあります。

● パソコンのサスペンドモード（省電力モード）は使用しないでください。
CRWiFを接続するとサスペンドモード（省電力モード）は使用できなくなります。

● 1台のCRWiFを複数のパソコンに接続して同時に使用することはできません。

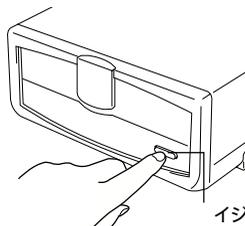
● CRWiFの空いているIEEE1394端子には、他のIEEE1394機器を接続できます。

● 電源スイッチについて
CRWiFの電源スイッチは「AUTO」のまま使用してください。AUTOになっていると、パソコンに連動して自動的に電源のON/OFFが切り換わります。
CRWiFにCDを入れたままパソコンの電源をOFFにしてしまった場合にだけ、CRWiFの電源スイッチを「AUTO」から「ON」にしてください。イジェクトボタンを押せばトレーが出てきます。ただし、停電などによってCRWiFの電源もONにならないときは、「トレーが出ないとき」【P20】の手順に従ってCDを取り出してください。

※ 4ピン←　→6ピンのIEEE1394ケーブルをお使いの方へ
CRWiFの電源スイッチをONにしてお使いください。「AUTO」ではCRWiFの電源がONの状態になりません。電源をOFFにしたいときは電源スイッチを「AUTO」にしてください。

CDのセット／取り出し

● CDをセットする

①パソコンとCRWiFをIEEE1394ケーブルで接続します。

②イジェクトボタンを押してトレーを出します。

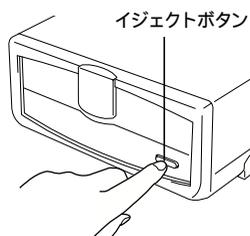
③トレーにCDを載せます。

レーベル面を上に向けます。

④トレーを軽く押してトレーを戻します。

⚠注意 CDをセットする前に、IEEE1394ケーブルでCRWiFとパソコンを接続し、パソコンの電源をONにしてください。

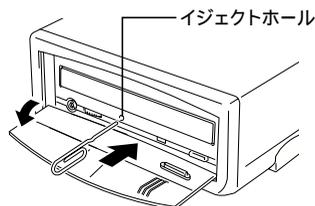
● CDを取り出す

Windows搭載パソコンの場合は、イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。
Macintoshの場合は、デスクトップに表示されているCDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。トレーが出てきたらCDを取り出し、トレーを軽く押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

メモ
・WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある［イジェクト］アイコンをクリックしてください。
・PacketManをインストールした環境で、パケットライト方式で書き込まれたメディアをCRWiFにセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］内にあるCD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、メニューから［取り出し］を選択してください。

●トレーが出ないとき

停電などによって、CDが入ったままの状態で電源が切れてしまうと、イジェクトボタンを押してもトレーが排出されません。
その場合は、トレーのふたの端に爪を差し込んで開き、クリップを伸ばしたものなどをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。

⚠注意 **この操作は、CRWiFの電源をOFFの状態にして30秒以上待ってから行ってください。電源をOFFの状態にした直後はCDが回転しているため、強制的に排出すると、CDが破損するおそれがあります。**

メモ 停電ではなく、パソコンの電源スイッチをOFFにした後にCDを取り出したい場合は、CRWiFの電源スイッチをAUTOからONにしてください。イジェクトボタンを押せばトレーが出てきます。

CRWiFの取り外しかた

パソコンやCRWiFの電源スイッチがONのときの、CRWiFの取り外しかたを説明します。

⚠注意 **CRWiFの取り外しは、必ずCRWiFのアクセスランプが消えていることを確認してから行ってください。**

WindowsMe/98

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにCRWiFを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

次のページへ続く

2 メニューが表示されたら、［Stop IEEE1394 CD-ROM - Drive(E:)］をクリックします。

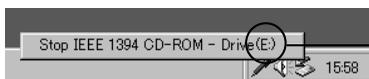
下線部には、CRWiF に割り当てられたドライブ名が表示されます。

CRWiFに割り当てられているドライブ名が表示されます。

3

安全なハードウェアの取りはずし

'IEEE 1394 CD-ROM E: ' デバイスをコンピュータから取りはずしても安全です。

OK

［OK］ ボタンをクリックします。

4 IEEE1394 ケーブルをパソコンと CRWiF から取り外します。

以上で CRWiF の取り外しは完了です。

⚠注意 IEEE1394 機器（CRWiF を含む）は、必ず終端に接続した物から取り外してください。 終端ではない機器を取り外すと、 次の警告画面が表示されます。

3

取り扱いかた

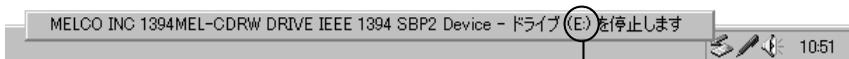
Windows2000

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにCRWiFを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

1

タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2 メニューが表示されたら［MELCO INC 1394MEL-CDRW DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ（E:)］をクリックします。

下線部には CRWiF に割り当てられたドライブ名が表示されます。

CRWiFに割り当てられているドライブ名が表示されます。

次のページへ続く

3

ハードウェアの取り外し

'MELCO INC 1394MEL-CDRW DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device' は安全に取り外すことができます。

OK

[OK] ボタンをクリックします。

4 **IEEE1394 ケーブルをパソコンと CRWiF から取り外します。**

⚠注意 IEEE1394 機器（CRWiFを含む）は、必ず終端に接続した物から取り外してください。 終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。

Macintosh

Macintosh の場合は、取り外しの際に特別な操作は必要ありません。 CRWiF のアクセスランプが消えていることを確認して、 IEEE1394 ケーブルを取り外してください。

⚠注意 MacCDR が起動しているときは、絶対に IEEE1394 ケーブルを取り外さないでください。MacCDR の起動中に IEEE1394 ケーブルを取り外すと、システムが不安定になります。 IEEE1394 ケーブルを取り外す前に、必ず MacCDR を終了させてください。

メディアの取り扱いに関する注意

CD-R/RWメディアは繊細なメディアです。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- メディアに傷を付けないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

書き込みと読み出し

CD-R/RW メディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込み

メディアにデータを書き込むときは、CRWiF付属のライティングソフトウェア「WinCDR」、「PacketMan」、「MacCDR」のいずれかを使用します。
ライティングソフトウェアのインストール方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

⚠注意
- 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。 CRWiFを使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- WinCDR、PacketMan、MacCDRで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

メモ CD-RWメディアへの書き込み速度は、10/8/4/2倍速が選択できます。
CD-Rメディアへの書き込み速度は、12/8/4/1倍速が選択できます。

WinCDR、PacketMan、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」または「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】

CRWiFの操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

ライティングソフトウェアの特徴

● WinCDR

音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。
- Windows用のライティングソフトウェアです。 対応OSはWindowsMe/98/2000です。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。
  ※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
  ※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z（大文字）です。

⚠注意 本製品の仕様により、WinCDRの設定ダイアログボックス（*）で［ｺﾋﾟｰ許可］を選択できません。
* ［ｺﾋﾟｰ許可］が含まれるダイアログボックスは、WinCDRのメイン画面で次のメニューを選択すると表示されます。
- ［設定］－［基本設定］　・［設定］－［ﾄﾗｯｸ設定］

● PacketMan

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。
- Windows用のライティングソフトウェアです。 対応OSはWindowsMe/98です。
- 小さなパケット単位で書き込むので、バッファアンダーランが発生しません。
- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。
  ※ CD-RWメディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-Rメディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

次のページへ続く

● MacCDR

・Mac OS用のライティングソフトウェアです。
・ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
・CDのバックアップが可能です。

※ 詳しい方法は、別冊「MacCDR ユーザーガイド」を参照してください。

・HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

⚠注意 Macintoshのスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

● ライティングソフトウェアの比較

○：対応　－：非対応

	WinCDR (WindowsMe/98/2000)	PacketMan (WindowsMe/98)	MacCDR (Macintosh)
ISO9660（CD-ROMの標準ファイルフォーマット）	○	－	○
CD-DA（音楽CDフォーマット）	○	－	○
Mixed Mode CD（CD-DAとデータの混在フォーマット）	○	－	○
CD-ROM XA（ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット）	○	－	○
フォトCD（フォトCDイメージファイルのコピー）	○	－	○
CD-ROM　Mode1	○	○	○
CD Extra	○	－	○
マルチセッションサポート（追記記録方式）	○	－	○
パケットライト（追記記録方式）	－	○	－
ディスクアットワンス	○	－	○
トラックアットワンス（追記記録方式）	○	－	○
セッションアットワンス	○	－	○
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	○	○
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むで、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	－	○
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	－	○
ロングファイル名サポート	○	○	○
Joliet（DOS名と64文字までのファイル名）	○	－	－
ISO9660レベル1標準（8.3）	○	－	○
HFS（Apple専用ファイルシステム）	－	－	○
Hybrid（ISO9660＋HFS）	－	－	○

書き込み方式

CRWiF付属のライティングソフトウェアは、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア	
ディスクアットワンス	WinCDR	MacCDR
トラックアットワンス	WinCDR	MacCDR
セッションアットワンス	WinCDR	MacCDR
パケットライト	PacketMan	

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。【P23「ライティングソフトウェアの特徴」】

● ディスクアットワンス方式

CRWiF付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ 書き込み時に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。

● セッションアットワンス方式

CRWiF付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ 音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。

● トラックアットワンス方式

CRWiF付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意
- **2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。**
- **1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、WinCDRやMacCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。**

メモ 書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● パケットライト方式

CRWiF付属のライティングソフトウェア「PacketMan」は、この書き込み方式に対応しています。

- パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
- パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくはカタログを参照してください。

- CD-RWメディア ..... RICOH、三菱化学、TDK、日立マクセル
- CD-RWメディア(High Speed対応) .... RICOH、三菱化学
- CD-Rメディア ...... 太陽誘電、RICOH、三井化学、富士FILM、SONY、イメーション、ONKYO、TDK、PHILIPS、三菱化学、日立マクセル、KODAK、パイオニア

CD-RWの制限事項

● CD-RWでは、1000回以上のデータの書き換えが可能です。

● データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

● CD-RWメディアで10倍速、8倍速で書き込みをする場合
High Speedに対応したCD-RWメディアを使用してください。
High Speedに対応したCD-RWメディアには、右のロゴが表示されています。

※このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

● CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。
CD-RW対応の弊社製ドライブ（2001年4月現在）は次のとおりです。

CRWiF、CRWU、CRWS、CRWI、CDRW、CDRシリーズ
DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAMT5.2G、
RAM5.2G/A
DVD-ROM16FB、ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB
CDS-S40、S35SL、S24SL、S24
CDI-48FB、40FB、32FB、24FB
CDN-D24VA、D24EX、D12EX

※使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

読み出し

CRWiFは、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。
- 音楽CD（CD-DA）
- CD-ROM（Mode1）
- CD-ROM XA Mode2（Form1、Form2）
- Video CD（*2）
- CD TEXT（*1）
- CD Extra
- Photo CD（*2）

*1 再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。

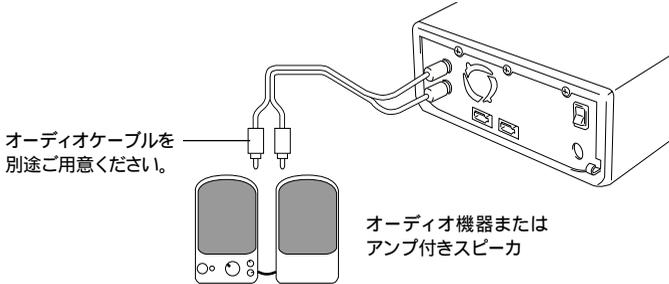
*2 読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

⚠注意 PacketManで書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにもPacketManのドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、WinCDRのCD-ROMに収録されているPacketManリーダーをインストールしてください。PacketManリーダーをインストールするには、WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら［PacketMan Reader］をクリックします。

5 音楽CDを聴くには

CRWiF にオーディオ機器を接続すれば、音楽 CD の演奏が楽しめます。

オーディオ機器の接続

CRWiF前面にあるヘッドホンジャックとヘッドホン用ボリュームは使用できません。音楽CDをCRWiFで聞くには、図のようにオーディオ機器またはアンプ付きスピーカと接続してください。

再生のしかた

Windows 搭載パソコン

WinCDR に付属の CD プレーヤーを使用します。 この CD プレーヤーは、 WinCDR のインストール後に使用できます。

[スタート]－[プログラム(P)]－[WinCDR]－[CD プレーヤー]と選択します。

操作方法は、CDプレーヤーのポップアップウィンドウ（操作ボタン上にマウスカーソルを重ねると表示される文字情報）を参照してください。

※ Windows に標準で付属している CD 再生機能でも再生できます。 操作方法は、 Windows のヘルプを参照してください。

Macintosh

OS 付属の「Apple CD オーディオプレーヤー」を使用します。

「Apple CD オーディオプレーヤー」 の使用方法は、 Mac OS のヘルプを参照してください。

6 付録

困ったときは

CRWiFを使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

一般的なトラブル

CRWiFが認識されない

原因	対処
CRWiFが正しく接続されていない	ACアダプタおよびIEEE1394ケーブルを正しく接続し直してください。
IEEE1394接続のCD/DVDドライブが2台以上接続されている	1台のパソコンに、IEEE1394接続のCD/DVDドライブを2台以上接続して同時に使用することはできません。1台で使用してください。

トレーが排出されない

原因	対処
パソコンの電源がOFFになっている、またはパソコンがCRWiFを認識していない	CRWiFの電源スイッチをONにしてください。 CRWiFの電源が「AUTO」になっている場合は、「ON」に切り換えてください。電源が強制的にONの状態になるので、イジェクトボタンを押してトレーを出すことができます。

リカバリーCDをセットすると「Not ready...」と表示される(WinCDR使用時のみ)

原因	対処
リカバリーCDをCRWiFにセットした	WinCDRに付属のバッチファイル(GHOST.BAT)で作成した起動ディスクでパソコンを起動しても、CRWiFは認識されません。リカバリーCDは、パソコンに内蔵されているCD-ROMドライブか、SCSI接続されているCD-ROMドライブにセットしてください。 一般的に、OSの再セットアップにIEEE1394/USB機器は使用できません。
パソコンに複数のCD-ROM(CD-R/RW、DVD)ドライブを接続している	WinCDRに付属のバッチファイル(GHOST.BAT)で作成した起動ディスクからパソコンを起動した場合、次の優先順位でドライブが認識されます。 ATAPIプライマリ接続ドライブ(マスタ→スレーブの順) → ATAPIセカンダリ接続ドライブ(マスタ→スレーブの順) → SCSI接続ドライブ(SCSI-IDの小さい順) CDをセットしたドライブより優先順位の高いCD-ROM(CD-R/RW、DVD)ドライブが存在すると、「Not ready...」と表示されCDが認識されません。CDは優先順位の高いドライブにセットしてください。

WindowsのスタンバイＩ状態から復帰した後、WinCDRでCRWiFを認識できない

PacketManをインストールした環境でCRWiF以外のIEEE1394機器を接続している	次のいずれかの操作を行って回避してください。 ・IEEE1394機器を2台以上、PacketManを使いたい場合 →Windowsのスタンバイモードは使用しないでください。 ・Windowsのスタンバイモード、PacketManを使いたい場合 →CRWiF以外のIEEE1394機器を取り外してください。 ・Windowsのスタンバイモード、IEEE1394機器を2台以上使いたい場合 →PacketManをアンインストールしてください。 【PacketManオンラインヘルプ参照】

MacintoshでCRWiFが認識できない

パソコンがCRWiFを認識する前にMacCDRを起動した	MacCDRはCRWiFをパソコンに接続して15秒以上待ってから起動してください。パソコンがCRWiFを認識する前にMacCDRを起動すると、CRWiFを認識できなくなります。その場合は、パソコンを再起動してください。

CRWiFの電源がOFFの状態にならない（電源ランプが消えない）

一部のiMac DVやリピータハブによっては、IEEE1394のバスパワーを供給し続けるものがあります。このような場合、CRWiFの電源がOFFの状態になりません。次の手順でOFFの状態にできます。

① パソコンの電源スイッチをOFFにする→② CRWiFの電源スイッチを「AUTO」にする
→③ IEEE1394ケーブルを抜く

CRWiFの電源がONの状態にならない（電源ランプが点灯しない）

CRWiFが正しく接続されていない	ACアダプタ、IEEE1394ケーブルを正しく接続し直してください。
4ピン← →6ピンのIEEE1394ケーブルを使用している	CRWiFの電源スイッチを「ON」にしてお使いください。
IEEE1394インターフェースボードから電源が供給されていない	IEEE1394インターフェースボードから電源が供給されていないと、CRWiFの電源スイッチを「AUTO」にしても電源ONの状態になりません。弊社製IFC-ILP(/DV)、IFC-IL3(/DV)をお使いの場合、必ず電源ケーブルをIFC-ILP、IFC-IL3に接続してください。他社のIEEE1394インターフェースボードをお使いの場合は、マニュアルを参照して電源が供給できるように設定してください。

CRWiF以降に接続したIEEE1394機器が使用できない

CRWiFの電源がOFFになっている	CRWiFの電源スイッチをONにしてください。CRWiFの電源がOFFの状態になっていると、CRWiF以降に接続しているIEEE1394機器は使用できません。 4ピン←→6ピンのIEEE1394ケーブルをお使いの場合、電源スイッチを「AUTO」にしてもCRWiFの電源はONの状態になりません。

読み出し時のトラブル

2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している	ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。
CDが汚れている、または破損している	CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。
CDが裏返しになっている	CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応していない	CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWメディアに対応したドライブで読み出してください。【P26「CD-RWの制限事項」】

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ	WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名(8＋3形式)で書き込んでください。

「デジタル音楽CDを使用可能にする」に設定すると警告メッセージが表示される(Windows2000)

CRWiFのプロパティで、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」を有効に設定すると、「このドライブはデジタル再生をサポートしていません...(中略)...有効にしますか?」と警告メッセージが表示されますが、[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。CRWiFはWindowsMe/2000でのデジタル音楽CD再生をサポートしています。

Photo CDが読み出せない

Photo CDのディスクに欠陥がある	他のPhoto CDが読み出せるか確認してください。読み出せるときは、読めないPhoto CDに欠陥があると考えられます。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した	弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

オーディオ機器から音楽CDの音声が聴こえない

オーディオケーブルが正しく接続されていない	オーディオ機器やパソコン（またはサウンドボード）のマニュアルを参照して、正しく接続してください。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランが発生する）

BURN-Proof機能が無効になっている	・WinCDRの［設定］メニューで［基本設定］を選択します。この画面でBURN-Proof機能を有効（初期設定）に変更してください。【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】 *WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。 ・MacCDRの［ファイル］メニューで［環境設定］を選択します。この画面でBURN-Proof機能を有効（初期設定）に変更してください。【「MacCDRユーザーガイド」参照】

PacketManで書き込んだCD-Rメディアに追記できない

PacketManで書き込んだCD-Rメディアの空き容量が誤認識されてしまうことがあります。そのようなときは、再度メディアをCRWiFへセットし直すことで、追記できるようになります。

CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	CRWiF付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている	CD-R/RWメディアにだけデータを書き込めます。CD-ROMや音楽CD（CD-DA）などには書き込めません。
CRWiFの電源が入っていない	CRWiFに電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
IEEE1394ケーブルが正しく接続されていない	CRWiFを含むIEEE1394機器に、IEEE1394ケーブルを正しく接続してください。
バッファアンダーランの発生したCD-R/RWメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド(*)」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。 CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

CD-R/RWメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている	ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
メディアの容量が足りない	新しいメディアに書き込んでください。
他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している	他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。CRWiFで書き込んだメディアを使用してください。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。
バッファアンダーランの発生したメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド(*)」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

12倍速、10倍速、8倍速で書き込みができない

メディアが対応していない	ご使用のCD-R/RWメディアが指定した書き込み速度に対応していることを確認してください。
ライティングソフトウェアがCRWiFに対応していない	CRWiFに付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。

パケットライト方式で書き込んだCD-R/RWメディアを読み出せない

CD-ROMドライブがパケットライト方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、パケットライト方式に対応していない物があります。
読み出しを行うパソコンにPacketManのリードドライバがインストールされていない	読み出すパソコンにもPacketManのリードドライバをインストールする必要があります。WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら[PacketMan Reader]をクリックします。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、CRWiFで音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を8倍速以下に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド(*)」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、オンザフライでの書き込みやコンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、CRWiFにCDをセットしてバックアップを行ってください。

DVD-RAMドライブから音楽CDを読み出せない

DVD-RAMドライブ(弊社製DVD-RAM5.2G/Aなど)にセットした音楽CDからWAVEデータを作成する場合、音楽データが読み出せないことがあります。この場合はCRWiFに音楽CDをセットし、CRWiFから音楽データを読み出してください。

CRWiFで作成したCDが正常に読み出せない

簡易消去で消去したCD-RWメディアでは、正常に書き込めないことがあります。この場合は完全消去で消去してから、再度書き込んでください。

仕様

※ **最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。**

項目		仕様
インターフェース		IEEE1394端子(*1) 6ピン×2ポート
アクセスタイム(平均)		150msec
データバッファサイズ		2MB
転送速度	サステンド	CD-RW書き込み： 1500KB/sec(10倍速)(*2) 1200KB/sec(8倍速)(*2) 600KB/sec(4倍速) 300KB/sec(2倍速) CD-R書き込み ： 1800KB/sec(12倍速) 1200KB/sec(8倍速) 600KB/sec(4倍速) 150KB/sec(1倍速) 読み出し ： 最大4800KB/sec(32倍速)
	バースト	最大400Mbps(理論値)
消費電力		平均：13W　最大：22W
サイズ		160(W)×65(H)×274(D)mm
重量		1.8kg
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80%(結露無きこと)
対応パソコン機種		・IEEE1394(i.LINK)インターフェースを搭載するDOS/V機(OADG仕様)およびNEC PC98-NXシリーズ(*3) ・IEEE1394(FireWire)インターフェースを搭載するPower Macintosh G3(Blue&White)(*4)、Power Mac G4、Power Mac G4 Cube、PowerBook、iMac DV
対応OS		WindowsMe、Windows98 Second Edition、Windows2000 Mac OS8.6、Mac OS9

***1 IEEE1394インターフェースはOHCI規格に準拠し、S400に対応している必要があります。**

***2 10倍速や8倍速で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。**

***3 パソコン本体にIEEE1394(i.LINK)インターフェースが搭載されていない場合は、弊社製IEEE1394インターフェースIFC-IL3(/DV)またはIFC-ILCB2(/DV)を別途ご購入ください。**

***4 Mac OS8.5.1のモデルは、Mac OS9にアップデートする必要があります。**

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ WinCDR、PacketMan、MacCDRのサポートについて

WinCDRクイックスタートガイドとMacCDRユーザーガイドにとじ込まれているお客様登録カード(株式会社アプリックス)は、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、PacketMan、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス　ユーザーサポート」までお問い合わせください。
【「WinCDRクイックスタートガイド」および「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、PacketMan、MacCDRに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CRWiF-B1210 ユーザーズマニュアル

2001年4月20日 第3版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東　京> 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く

土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※年末年始と日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。